

## 広島戦後直後に実施された建築設計コンペティションにおける設計案に関連しての原型・類似型に関する研究 その6. 広島平和記念公園丹下健三案とル・コルビュジェ提案ソヴィエト・パレス案

平和記念公園 丹下健三案 ル・コルビュジェ案

ソヴィエト・パレス案 アーチ 原型

正会員 石丸 紀興

### 1. はじめに—研究対象と研究方法

前稿<sup>1)</sup>に引き続き、被爆後・戦後の広島において相次いで実施された建築設計コンペティションに関連して研究を進めるが、本稿は昭和24年に実施された広島平和記念公園コンペの入選案である丹下健三案について考察するものこととする。そしてこの段階で原型としてコルビュジェ提案のソヴィエト・パレス案を対象としていることを明示しておく。最終的には探し出した原型、類似型の意味や役割を考察するのであり、研究方法等は前稿までと同一のものであることを断っておく。また既往研究としては今掛壽大・岡河貢著のアーチ曲線を中心として解析した論文<sup>2)</sup>がある。なお、本文においては敬称略としているので、関係者はご容赦願いたい。

### 2. 平和記念公園コンペと丹下健三案の概要

すでに度々記述しているところであるが、1949年5月建築競技設計「広島平和記念公園及び記念館」の募集要項が公表され、8月に審査結果が発表され、丹下健三他3名案が1等入選した。その配置計画(図1)と基本的な建築形態においてユニークなものであった。ところが、審査後この丹下案において平和記念アーチが、アメリカのセントルイスにおけるエーロ・サーリネン設計のトーマス・ジェファーソン記念ゲートウェイ・アーチに類似しているとして問題となった。このコンペの審査委員であった岸田日出刀は、「このアーチ故に本案を1等にする価値なしとは主張したくはなかった。それにしてもサーリネンの独創には大きな敬意を表したい。3等の案にも、同じ構想のアートが使っている」(中真己著「現代建築家の思想—丹下健三序論」建築1965年8月号p.18)というような審査評を記述し、類似していることを基本的問題にすることを回避する発言をおこなっている。このようにコンペ審査当時はサーリネン案との類似性が主として問題となったが、より広範なレベルから検討する必要があると考え進めるものである。

### 3. ル・コルビュジェ提案のソヴィエト・パレス案

中真己は「現代建築家の思想—丹下健三序論」(前掲p.20)において、平和記念公園に続いて実施されたコンペ「仙台市公会堂」について「1等は武基雄案、2等は浅田孝、大田実、大谷幸夫であった。この案でかれらはアーチを用いている。このアーチは、ル・コルビュジェのソビエトパレス案のアーチに類似しているが(以下

略)」と指摘している。

さらに、かなり後に丹下健三はインタビュー「焼け野原から情報都市まで駆け抜けて」(建築雑誌 vol.101、No.1242、196年1月号、p.18)において、「慰霊碑はコンペ案では大アーチですけれど、この発想はコルビュジェのソヴィエトパレスにあるわけですか」との問に対して、「あの形が私は好きでしてね。サーリネンのと似ていると言われとしゃくだなと思いつながらコンペでは使ったんです。私自身はコルビュジェの影響でやってみたと思いつながら使ったんです。」と明確に述懐している。

このように設計者の丹下健三自身が、類似型というよりは原型あるいは影響下としてのコルビュジェ設計ソヴィエト・パレス案を種明かしているのである。

ソヴィエト・パレスとは、ル・コルビュジェ(ピエール・ジャンヌと共同)作品集1929-1934版によれば、「PALAIS DE SOVIETS, A MOSCOU, 1931」として掲載されており(図2、3、4)、またル・コルビュジェ展カタログによれば「セントロソユーズの実現以来、特に1920年代の末以来ソ連と関わりをもち続けていたル・コルビュジェは、ソ連政府よりソヴィエト・パレスのコンペに案を出すように求められた。」と記述している。総合文化会館として、15000人収容の大劇場と6500人収容のホール、レストラン、図書館、事務室その他大小の集会室を備えるものであった。習作スケッチが何枚か残されているが、最終的に軸線上に大劇場とホールを向かい合わせるように対峙させた対称形で配置された。そのくびれた部分の大劇場側にパラボラ・アーチを置き、大劇場の屋根の長大スパンである梁材を吊す形になっていた。一方のホールの屋根はフライングバットレスを思わせるL型の部材を露出させ、共に屋根を特徴づけたのである。

### 4. 両者のアーチの形とそれぞれの意味づけ

まず、両者のアーチを比較すると表1のようになり、アーチ本体の高さは丹下案では約60mであり、コルビュジェ案ではスケールが不明なため仮に丹下案と同じとすると(85mあるいは23.5mという推定値あり)プロポーションは図5のようになる。すなわち、丹下案の方がスパンの開き方が大きく、やや扁平な形となっていた。また丹下案においては、アーチは手前の平和記念資料館のピロティ下から原爆ドームへの軸線を構成するように、全体の中心部に平和の鐘を吊す役割として置かれ、アー

A Study on Prototype and Similar-type referring to the Project towards Architectural Design Competitions which had been held soon after the War in Hiroshima—Part 6. Kenzo Tange's Project for Hiroshima Peace Memorial Park and Le Corbusier's Soviets Palace Project  
Norioki ISHIMARU

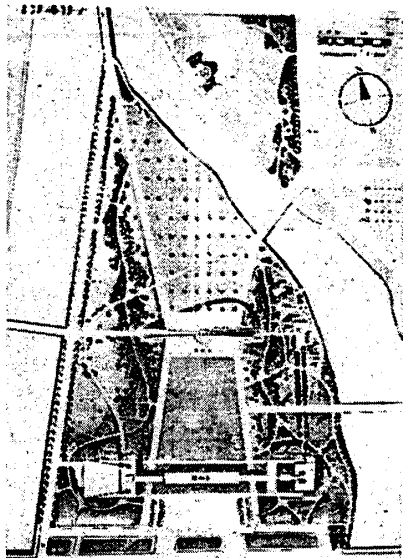


図1 平和記念公園丹下案配置図

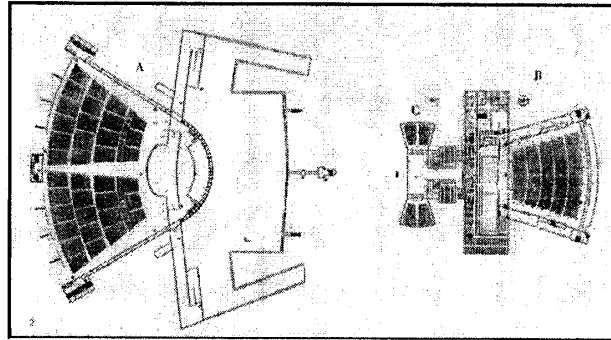


図2 コルビュジェのソヴィエト・パレス案平面図

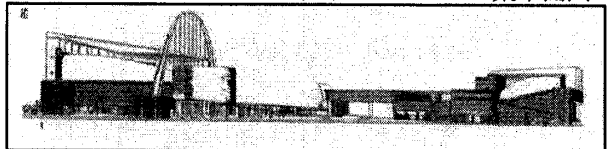


図3 コルビュジェのソヴィエト・パレス案立面図

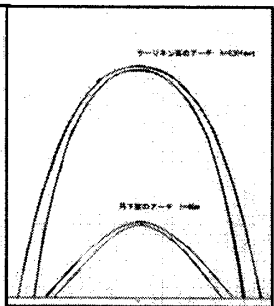


図5 アーチの形態的比較 (下がソヴィエト・パレス案)



表1 丹下のアーチとコルビュジェのアーチの比較

	丹下のアーチ	コルビュジェのアーチ
設計者	丹下健三	ル・コルビュジェ
完成年(設計年)	未完成(1949年)	未完成(1931年)
アーチの高さ	約60メートル	不明、約60メートルとして作図
梁(桁)スパン	外側154m、内側137m	外側107m、内側98m
構造	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート
構造的役割	平和の鐘を吊すための単独構造、自立アーチ	大会議場の屋根を支える(吊す)ための重要な支持アーチ
軸線との関係	軸線を構成する重要な役割	軸線の構成に参加
景観的役割	よく目立ち象徴的な存在	建物の存在にやや隠れる存在
位置関係	台形的な二つの画地で構成されたくびれた位置、建築は片側のみ存在	台形的な二つの建築に挟まれた位置であるが、大会議場と一体化して独立した位置ではない

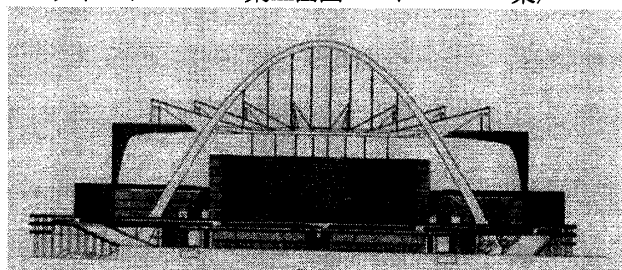


図4 コルビュジェのソヴィエト・パレス大会議立面図

チは単独の景観的にも象徴的な存在として扱われている。これに対してコルビュジェのアーチは軸線を構成することに一定の役割を果たしているものの、大劇場の存在に隠れて補助的な存在となり、しかも構造的な役割を果たすものとして扱われており、存在感がやや薄いといえる。すなわち、ソヴィエト・パレスの空間構成の妙は、あくまでも扇形(台形に近いといえるが)と台形の二つの固まりを対峙させて中央部を絞るという独特の構成であろう。このような構成はコルビュジェにおいてはすでにセントロソユーズ計画において出現したものであるが、ソビエトパレスでより意図的に展開された。この特徴も丹下案でも踏襲しているが、画地の線形を利用したものでコルビュジェ案ほど明快なものとはいえない。

### 5. まとめにかえて

以上より表1が差異性と類似性として集約される。問題は丹下がコルビュジェのアーチを原型として採用したのは何であったらうか。また、サーリネンのアーチは類

似していると指摘されることには反発するのにも、コルビュジェ案の影響下であると公言するのはなぜであろうか。ここにコルビュジェが近代建築の地平を切り開いた先駆者としての評価があり、また5原則の提案のように他の建築家によって採用されることを望む原型を積極的に展開していたからに他ならない。丹下はなに憚ることなくコルビュジェの影響下に身を置いたのである。とはいえ、丹下案とコルビュジェ案とでは微妙に形態が異なり、また発信する意味も異なっていることも指摘しておく。

### 脚注

- 1)拙著：「広島戦後直後に実施された建築設計コンペティションにおける設計案に関連しての原型・類似型に関する研究 その1. 広島ピースセンターコンペティション丹下健三案とジェファーソン記念塔」(日本建築学会中国支部研究報告集第31巻 pp.1-4, 2008年3月)、「同その2. 広島平和記念公園丹下健三案とコベントリー復興計画案」(日本建築学会大会学術講演梗概集(中国) 建築歴史・意匠 pp.469-470, 2008年9月)、「同その3 世界平和記念聖堂コンペティション丹下健三案とオスカー・ニューマイヤー作品」(日本建築学会中国支部研究報告集第32巻、No.905, 2009年3月)、「同その4. 広島平和記念公園丹下健三案とル・コルビュジェ提唱のピロティ形式」(日本建築学会大会学術講演梗概集(東北) 建築歴史・意匠 pp.591-592, 2009年8月)、「同その5. 世界平和記念聖堂実施村野藤吾案とポール・ボナツ設計コンペストハイム市庁舎・給水塔」(日本建築学会中国支部研究報告集第33巻、No.915, 2010年3月)
- 2)今掛壽大、岡河貢著「丹下健三初期計画に関する研究、初期計画とル・コルビュジェのソビエトパレス計画のアーチの形態」(日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.385-386, 2002年8月)